

# 須坂高校 探究通信

## 3月21日に「情報探究発表会」が行われました



本校2学年は毎週月曜6・7時間目に「総合的な探究の時間」を行っています。1年間、自分の興味関心のあるテーマを探究してきました。1年間の総まとめとして3月21日終日、1学年の情報の授業と合同で「情報探究発表会」を行いました。午前中は、2学年の70グループが今までの探究の様子をポスターにまとめて、主に1年生に発表する「ポスターセッション」を本校で行いました。また、午後は会場を須坂市メセナホールに移し、1学年代表6グループによる情報で調べた社会課題についての発表、2学年代表8グループによる、1年間の探究の成果発表を行いました。

2学年の代表グループの探究テーマ・問いは以下の通りです。

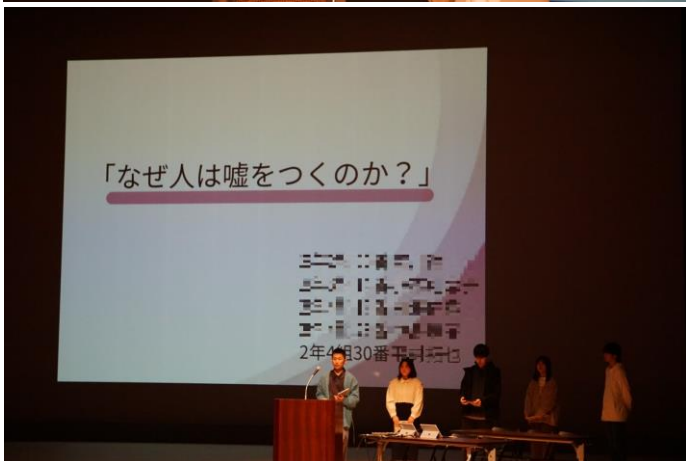
- ・地域鉄道を残すために高校生にできることは何か？ ・かっぱえびせんは何故止まらないのか？
- ・シアロバクテリアなどの生物はどのようにして絶滅を乗り越えたのか？ ・恋愛感情を継続させるためには？
- ・映画と音のディープな関係 ・嘘との良い付き合い方とは？ ・今後、放射線が私たちに与えていく影響は何か？
- ・誰もがわかるわかりやすい案内図・標識とは？

大学教授へのインタビュー、看板の作成、地域おこしの提案等様々な活動が発表されました。



以下、外部講師の先生のコメント抜粋です。

- ・すべての発表から PDCA サイクルを意識し、フィールドワークの成果を踏まえた探究活動が行われてきたのだと感じられました。
- ・実証できたかどうかにかかわらず、検証することを考えていない調べ学習に終わっている発表も散見されました。
- ・例年以上に堂々と発表していて素晴らしい発表でした。代表選考発表会の時より洗練・充実されていました。
- ・ステージを広く使う発表も現れたので、来年はプレゼンテーションの基礎の指導も必要になると感じました。
- ・探究の過程でテーマ変更が許容されていること、それ自体もプロセスとして大切にまとめられている点が良いと思いました。
- ・好きなものをとことん追求したり、すぐに結果が出なくてもやり続けたりすることは、非常に価値のあることだと思う。



外部講師の先生の指摘で多かった部分は「問いの答えを出した上でのその答えの検証がなされていない」というものでした。問いの答えを出して満足してしまった生徒が多かったように感じます。来年度に生かしていきたいと思います。

1年間活動してきた2学年の「探究」もこれにて終了です。1年間を通して、じっくり自分の興味関心のあるテーマに向き合えたことと思います。今後、この探究が人生の糧となっていくことを願っています。

アンケートやインタビュー等で非常にたくさんの会社、団体様にお世話になりました。ありがとうございました。来年度の2学年も同様の活動を行っていきたくて考えておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。